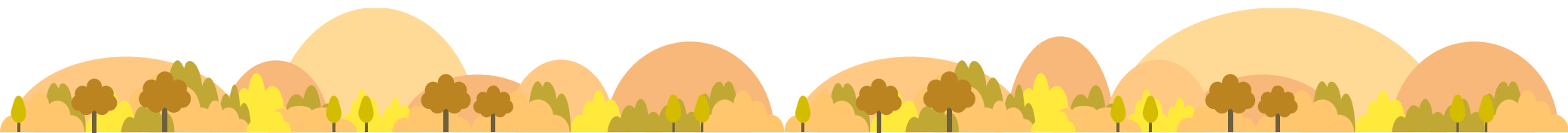


# 令和6年度 農村RMO推進フォーラム（東海農政局）

参加者事前資料

2024.12.5 @多気町立勢和中学校体育館（三重県多気郡多気町片野2254）

三重県多気町／勢和農村RMO協議会

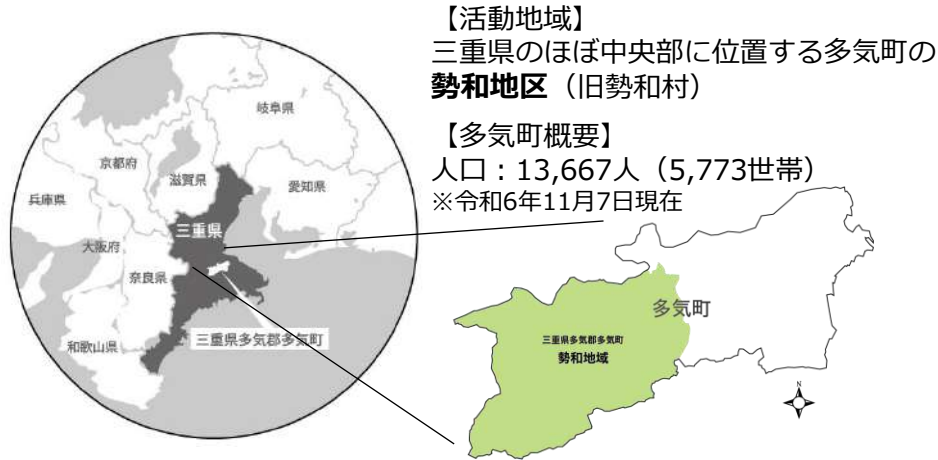


この度は第5回農村RMO東海フォーラムにお申し込みいただきありがとうございます。事例発表させていただく三重県の勢和農村RMO協議会です。

【参加者の皆様へ】

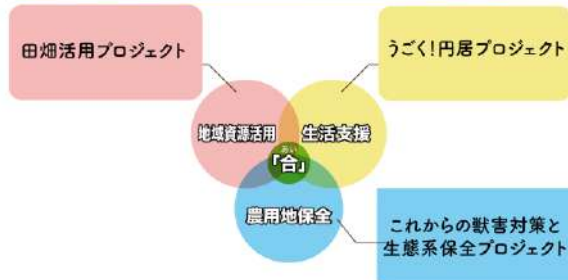
当日までに3つのお願いです。

- ①この事前資料を読む
- ②右のQRコードから「勢和農村RMO公式LINE」に追加（登録）する
- ③公式LINE画面下のメニューボタンにある「勢和地域マップを見る」を押し「勢和地域マップ」を見る



【勢和農村RMOの将来ビジョン】

将来ビジョン 「合」でいきる勢和  
～農ある暮らしを、誘い合い、支え合い、認め合っている～



勢和農村RMO公式LINE QRコード



スマホのカメラでQRコードを読みこみ「勢和農村RMO公式LINE」に登録（追加）をお願いします!!



公式LINE画面下の「勢和マップを見る」ボタンを押し！

12月5日楽しみにしております！どうぞよろしくお願い致します。

勢和農村RMO協議会メンバー一同



日々の活動の様子は公式SNSでの発信中。ぜひご覧ください。

これまで地域住民の皆様が発行してきた「RMO通信」創刊号から最新号まで掲載しています。この「通信」は事業活動の報告だけでなく、わたしたちが暮らす地域について改めて「知る」「興味を持つ」「考える」きっかけを提供し、シビックプライドを醸成することを目的に発行してきました。フォーラム当日までにご一読いただき、私たちの地域の歴史背景や活動の取り組みを把握いただいた上でお越しいただけたら幸いです。

2023年3月1日

# 勢和農村 RMO 通信



発行：勢和農村 RMO 協議会事務局 多気町丹生 1620-3

勢和地域の農村コミュニティを維持、発展すべく、勢和農村 RMO 協議会が設立されました！

旧勢和村の 10 集落を対象に事業を展開する勢和農村 RMO 協議会が設立されました。3年後の本格稼働に向けて調査や検証を進めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

勢和農村 RMO 協議会の構成組織  
(令和5年1月1日現在)



## 農村 RMO とは？

農村 Region Management Organization の略で、人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことです。

農林水産省は 2025 年までに全国 350 地区で農村 RMO の設立を目指しており、農家と地域住民が一体となった組織づくりの支援を始めています。勢和地域では令和 4 年度に（一社）ふるさと屋を事務局とする「農村 RMO 形成推進事業」が選定され、これまでの仕組みで対処出来なかった農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいきます。

## 農村 RMO で取り組む 3 大テーマ



# 勢和農村 RMO 協議会が始動！！

わかりやすく言えば「勢和の地域おこし」をやりたい！ということだと思います。若いも若きも、みんなで住んでる地域をよくしていくにはどんなことが必要か考え、話し合っって1つずつ実行していきましょう。勢和で暮らす皆さんと、勢和暮らしを楽しめる組織を一緒に作っていただけたいです。



会長 中西美紗子  
・勢和の農家に嫁いで 52 年  
・丹生在住



副会長 高橋伸照  
・勢和で働いて 37 年  
・波多瀬出身、在住

勢和の良さは、「みんなで協力してきている事」だと思っています。農村 RMO の 3 つのテーマは「地域資源活用」「生活福祉」「農地保全」になります。協力してこの 3 本の柱の方向性をみんなで構築して行動出来たらと期待しています。旧勢和村に暮らす皆さん。勢和の生活圏を自分たちで見つめ直して、自分達で出来る事は努力を惜しまず、活路を見出し、協力してやっていけるきっかけが作れる勢和農村 RMO にしていきましょう。

【お知らせ】

## ネーミング大募集！！

今回、創刊しました勢和農村 RMO 通信（仮）のネーミングを大募集しています！勢和地域に暮らしている多くの方々にお楽しみいただける、この通信のネーミングをぜひご提案ください！！

### 応募方法

- ①FAX から：0598-49-4828（ふるさと屋）
- ②QR コードから：スマホで右の QR コードを読み込み、指示に沿って送信をお願いします。



Next Issue  
次号のご案内

## 農村 RMO 勉強会レポート

2/14（火）に開催された勉強会の様子をお伝えします！



- 勢和くらしのコラム
- 勢和クイズ
- 勢和本紹介など

\*内容は変更することがあります。ご了承ください



2023年3月16日発行号

# 勢和農村 RMO 通信

第2号

発行：勢和農村 RMO 協議会事務局 多気町丹生 1620-3

## 「農村 RMO」を知っていただく勉強会を開催しました！



### 開催レポート

当日は、協議会メンバーの方や各地区の区長さん、地域づくりに興味のある住民のみなさん、果職員など 30 名ほどが参加し、全国各地で地域づくりに携わっている青森県弘前大学教授の平井太郎先生を講師にお話をうかがいました。



### 夢を実現するために農村 RMO を！

まず初めに、これまで地域づくりを頑張ってきた方々が、やってきたことを次の世代にどのように受け渡していくのかについて多くの地域で課題となっている点に触れ、「みなさんでしっかり話し合って、勢和地域をどうしていきたいのか絵＝夢を描いてほしい。その夢を実現するために農村 RMO を活用してほしい」と述べられ、私たち地域住民が主体となって、勢和地域の将来について話し合うことの重要性を強調されました。

参加者との質疑応答では、獣害対策の方法や若い世代が地域活動に関わってもらう方法について質問がありました。鹿が壊すマリーゴールドを景観作物として植えたい例やフリーマーケットを開いて若い世代や地域外の人が来やすい形にした事例などを紹介いただきました。

またコミュニティナースとして丹生を中心に活動している女性参加者は、「地域づくりや世代間のつながりづくり、若い世代の支援に RMO をうまく活用できればと思う」と述べていました。

### 「課題思考」から「夢・理想思考」へ

平井先生は、「課題思考」から「夢・理想思考」に変えること、例えば「獣害に困っている」というより「サルに負けないむらづくり」と考える方が前向きに、かつ柔軟に取り組めるといいます。まずはみなさんの夢を出し合って、それならこういことができるのではないかと語り合うことから始める。そしてまた、若い人やよそ者、未経験者など、これまで関係が希薄だった人たちとも一緒に取組むことで活動の幅が広がり、より継続的な仕組みを創出することができるはずとお話いただきました。

勢和地域ではすでに様々な活動が行われてきましたが、勢和農村 RMO で夢を語り合い、人と人との繋がりがづくりを進めていくことで、より魅力ある地域になる可能性を感じました。



## 数字で知る勢和の今

農村 RMO（農村型地域運営組織）とは、人口減少が顕著な「中山間地域」の農地保全と農業を主軸に住民、法人、自治会などが一体となって「地域経営」に取り組む組織ということで、今回対象となる勢和地域の現状について「数字」から紐解いてみたいと思います。

(2023年2月末現在) 松阪市



令和5年度4月状況

波多瀬	505 人
片野	795 人
朝柄	516 人
古江	249 人
色太	400 人
土屋	115 人
車川	128 人
上出江	247 人
下出江	494 人
丹生	898 人
勢和小学校	211 人
勢和中学校	125 人
合計	336 人

新年度の勢和小学校では6学年のうち1クラスの学年が3つ、2クラスの学年が3つ。勢和中学校では3学年が2クラスずつ新学期を迎えるとのこと、いよいよ勢和地域での人口減少が進み始めていますと数字から見えてきました。

勢和図書館の司書さんに選んでいただきました！



『3大勢和本』

「勢和の民俗」伊勢民俗学会編

まずは 38 年前 (1985 年) に書かれたコノ読みやすい一冊から。表紙はどここの写真かわかりますか？※勢和図書館にてご覧いただけます。

### ネーミング大募集！！

勢和農村 RMO 通信 (仮) のネーミングを大募集しています！勢和地域に暮らしている多くの方々にお楽しみいただける、この通信のネーミングをぜひご提案ください！！

FAX: 0598-49-4828 (ふるさと屋)

QRコード：右図からアクセス下さい。



※応募は変更することがあります。ご了承ください。

## R4年度は農村 RMO 元年！！

農林水産省のはじめての取り組みを全国 29 カ所の地域でスタート。

農村 RMO に関する理解を深め、集落地域の未来をつくるヒントになることを目的にした農村 RMO 公式ホームページが農水省により新設され、全国の団体同士が繋がり、活動を強化するきっかけの創出など、全国の中山間地域が連携して取り組めるような仕組み作りも動き出しました。また研修会やオンライン勉強会も行われ、勢和農村 RMO 協議会事務局も参加。勢和地域にとってより有効な活動（事業）とは何か勉強してきた1年目です。

ぜひ一度のぞいてみてください！  
<https://nouson-rmo.com/>



### 「地域福祉の在り方について」勉強会を実施

今回農村 RMO が手がける3つのテーマの中で、「生活支援」という、地域コミュニティの維持に資する取り組みを「農村 RMO」で大切にしている事が今回の事業の特徴と言えます。今の勢和地域で取り組むべき事業を検討するため、調査ももちろんですが全国や多気町の現状の把握、事例や可能性について勉強会や座談会を行いました。



### Next Issue

次号のご案内

勢和農村 RMO 1 年目の取り組みについてご紹介

勢和コラム 勢和地域の歴史はどこまで深い？

勢和クイズ

勢和本紹介ほか

※内容は変更することがあります。ご了承ください。



2023年3月25日

# 勢和農村 RMO 通信

第3号

発行：勢和農村 RMO 協議会事務局 多気町丹生 1620-3

## 2022年6月から始まった農村RMO 形成推進事業として、勢和地域の 地域資源活用、生活支援、農用地の調査を行いました。

調査結果は公開準備中

### 勢和農村 RMO 1年目の取り組み

高齢化・高齢者がすむ勢和地域において、これまでの仕組みをカバーする地域資源活用や住民の生活サポート、農地保全を地域で連携して行うための土台となる調査作業を行いました。

**地域資源活用調査** 主な6次産業施設を対象にヒアリングを行いました。元文の屋敷め工房やふれあいの館、せいわの屋まめや、ふるさと屋などに対し、現在取り組んでいる活動や今後の計画、課題、地域連携の可能性や農村 RMO に対する期待についてなどをうかがいました。

また、勢和地域の子育て世代の方を中心にインターネットアンケートを実施し、111名の方からいただいた回答では、「地域の魅力として「自然環境」や「風景」を挙げる声が多くあり、また残したい魅力は「風景」、「人とのつながり」、「お祭りや伝統行事」、「農業」と続きました。

図9. 勢和が誇りに感じたい地域の魅力を教えてください。(複数回答可)

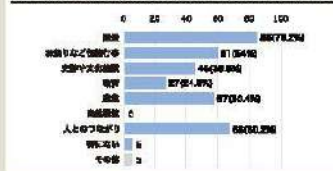
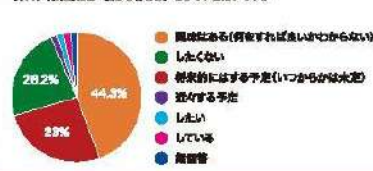


図11. 観光客は「何を暮らし」を求めていますか



### 生活支援調査

多気町社会福祉協議会や JA 多気郡、民生委員、勢和図書館について資料収集とヒアリングを行いました。また高齢者福祉については専門家を招いた勉強会を開催し、令和4年12月末現在、勢和地域における65歳以上の単独世帯は360世帯、高齢者世帯は307世帯あり、要介護認定率は全国・三重県の平均値よりも高くなっていることや、高齢者や要介護者が増加傾向にある勢和地域では、マンパワーや財源不足などが課題であることを再確認しました。

#### 多気町について：勢和地域の現況

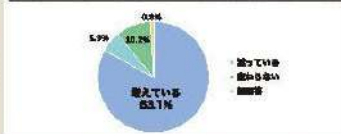
多気町は、三重県中部に位置し、東に津市、西に伊勢市、南に桑名市、北に多気郡と接しています。面積は約1,400平方キロメートルで、人口は約10万人です。勢和地域は、その南西部に位置し、豊かな自然環境と歴史を有しています。



### 農用地調査

農地面積や圃場整備状況についての情報収集、また遊休地に関しては各地区の区長さんを通じてアンケートを行いました。併せて、営農組合に対し、現在の営農活動や遊休農地の発生状況、また取組策に關してのヒアリングも行いました。

図2. 遊休0年未満の農地、お住まいの地域に増加しているかどうか



こうした調査結果を踏まえ、今後どのような地域にするべきか、農村RMOがどのような取り組みをしていくのかについて話し合い、実施計画を立てていきたいと考えています。

## さかのぼる勢和の1500年

勢和農村 RMO という新しい活動が始まりますが、その前に、あらためて「勢和」ってどんなところなのか振り返ってみたいと思います。

- 2022年 勢和農村 RMO スタート
- 2006年 市町村合併で多気町へ
- 1955年 勢和村の誕生 今年は200周年!
- 1823年 立梅用水完成・通水 西村彦左衛門
- 1739年 野呂元文(47歳)が8代將軍吉宗のお目見医師となる
- 1717年 北村醤油醸造場と油田酒醸造場が創業 のろうじたか
- 1270年頃 野呂氏隆が五箇篠山城を築く
- 815年 空海/弘法大師(40歳)により七堂伽藍が建立 しちどう
- 774年 丹生山神宮寺(丹生大師)が勧進大徳により開山 こんそうだいとく
- 523年 丹生神社ご鎮座

医者として波多瀬出身の野呂元文が8代將軍吉宗に仕え、醸造業が盛んだった車川では北村醤油醸造場と油田酒醸造場が創業しました。



鎌倉時代中頃、古江と朝柄の間に上野園(群馬県)から文徳天皇の子孫の野呂氏隆が移り住み、五箇篠山城を築いたと言われています。野呂氏は代々国司の北畠家に仕えました。

奈良時代には丹生山神宮寺が勧進大徳により開山。平安時代に入ると、弟子だった弘法大師が七堂伽藍を建てました。

丹生神社には、聖武天皇が東大寺大仏殿の建立の時、水銀が採れますようにと祈るとたちまち湧き出したという言い伝えがあります。水銀の原料である丹砂(辰砂)は、縄文時代から採取・採掘が行われていたことが調査でわかっています。



私たちの住んでいる地域は、何千年も前から風土を活かして生活していたことがわかります。

勢和図書館の司書さんに選言いただきました!



2冊目は24年前(1999年)に11年の月日を経て刊行された、勢和歴史地図付きのコノ1冊!  
\*勢和図書館にてご覧いただけます。

### ネーミング大募集!!

勢和農村 RMO 通信(仮)のネーミングを大募集しています! 勢和地域に暮らしている多くの方々に御覧いただき、この通信のネーミングをぜひご提案ください!!

FAX: 0598-49-4828 (ふるさと屋)

QRコード: 右図からアクセス下さい。

### Next Issue

次号のご案内

勢和農村 RMO ビジョンについてご紹介!!

トピックス 勢和農村 RMO 公式 LINE がスタート!

勢和クイズ

勢和本紹介ほか

\*内容は変更することがあります。ご了承ください。



2023年3月31日

# 勢和農村 RMO 通信

第4号

発行：勢和農村 RMO 協議会事務局 多気町丹生 1620-3

3月28日に勢和農村RMO協議会の  
構成団体の代表者が集まり、  
2022年度の活動の振り返りと  
2023年度の活動方針について  
共有・意見交換する報告会を開催しました。

## 未来ビジョン 「合」でいきる勢和 ～農ある暮らしを、誘い合い、支え合い、認め合っている～

### “誘い合う”地域資源の活用

- (1) 自然環境・景観の保全
- (2) 地域資源と農の連携
- (3) 関係人口・交流人口の増加

### “支え合う”生活支援の推進

- (1) 地域全体で支える体制の構築
- (2) 未来を担う子どもたちの育成
- (3) 地域コミュニティの維持

地域資源活用 生活支援

「合」

農用地保全

### “認め合う”農用地の保全

- (1) 営農環境の整備
- (2) 担い手の確保・組織の強化
- (3) 収益性の確保



報告会の様子

農村 RMO 形成事業は3年間、国からの交付金が支払われ、農村地域が地域住民にとって住みやすい場所として整えていくことが求められています。手順としては、1年目に協議会を設立して未来ビジョンを作成し、2年目は1年目の調査結果やビジョンに沿った計画を策定。3年目からは実際に活動を行い、4年目以降も持続的に継続できる仕組みづくりが必要であるとの認識を共有しました。

次に勉強会や調査活動、先進地視察等を実施した1年目の取り組みを踏まえ、将来にわたって勢和の農村コミュニティを存続させていくために上配を勢和農村 RMO の活動ビジョンとし、地域づくりの目指す方向性が定められました。

地域の豊かな自然環境などの資源を生かしながら、地域住民がいそいそとした日々を送れるように、また勢和の明日をつなぐ子どもたちが豊かに育つように「合」を合言葉として、農村 RMO に求められている「農用地保全」、「地域資源活用」、「生活支援」の連携を深めていくことを目指します。



地域資源活用の先進地視察



コミュニティ・スクールとの連携の可能性を探る勉強会

2023年度はこのビジョンに基づき、具体的な計画を立てるための分科会に分かれながら、実際の活動に取り組んでいくことが提案されました。

## 勢和農村 RMO 公式ラインが新たに開設されました！

この公式ラインは、若い人から高齢者まで多くの人が活用しているライン（LINE）というツールを使って、農村 RMO の活動を勢和地域の住民のみなさんに「知って」「参加」いただくための一つの手段です。  
「勢和農村 RMO 通信」という各戸配布している紙媒体とも連動しており、活動の発信だけでなく、例えば地域内のものが売買できるようなお店の機能をもたせたり、利用者も情報を投稿できる機能をつけたりするなど、より様々な活用方法が検討されています。このラインによって地域のみなさんの声が届けられることも期待されています。

ネットショップ感覚で商品やサービスをお買い求めいただけるようになります。

### 勢和農村RMOについて

勢和農村 RMO の詳細等をご紹介します。



### 勢和RMOの活動報告

過去の取り組みや定例会等の活動に関する報告が見られます。

### プロジェクト一覧

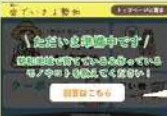
今後、勢和農村 RMO が取り組んでいくプロジェクトが見られます。

### こまごごと

地域活動の困りごとや、メンバー募集中の活動をお手伝いできます。



### SHOPページ (準備中)



ネットショップ感覚で商品やサービスをお買い求めいただけるようになります。

### お知らせ

勢和 RMO からの告知や家内が見られます。

### ガイド

勢和地域のおすすめ店やモノ・コト、歴史などをご紹介。

### 友だちに紹介

勢和農村 RMO 公式 LINE を紹介できます。

### 募り

勢和地域でしたいことや、勢和を元気にするアイデアを申請できます。

勢和農村 RMO 公式 LINE に登録し、ご利用ください！！



おかげさまで1年目が終了しました。とくにこれから大きくなる子どもたち、そして今住んでいるみなさまに「ここに住んでいてよかった」と言っていただけの勢和地域にしていきたい。そのために構成団体のみなさんと協力しながら来しやすくすめています。

勢和農村 RMO 協議会  
中西真喜子会長



勢和図書館の司書さんに  
選んでいただきました！  
// 3大勢和本 // その3  
「勢和村史 資料集 1 - II」  
編集 勢和村史編集委員会



2冊目にご紹介した「勢和村史 歴史編」に取まらなかった沢山の事柄がとりまとめられ2年後の2021年に発行された数大成！！

\*勢和図書館にてご覧いただけます。

## Next Issue

次号のご案内

### 2年目の勢和 RMO 協議会

- トピックス  
立梅用水  
通水200周年特集！！
- 勢和クイズ
- 勢和 RMO 通信の「名前」発表！！

\*内容は変更することがあります。ご了承ください。



2023年9月15日

勢和農村RMO通信

# Let's合!勢和!!

公募の結果、上記の題目をタイトルに決定いたしました。多く皆さんの応募ありがとうございました。  
発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町民生1620-3）

第5号

農村聖地域運営組織（農村RMO）とは人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことで、勢和地域では令和4年度に（一社）ふるさと屋を事務局とする「農村RMO形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。

8月1日に勢和農村RMO協議会の構成員が参加し、令和5年度の総会が行われました。

勢和農村RMOは3年間で農地保全や住民の生活支援、農村地域の活性化を目指す基盤を作る事業で、令和4年度から始まりました。総会では昨年度の事業報告と収支決算報告が行われ、それぞれ承認されました。また、令和5年度の事業計画案についても話し合いました。



総会の様子

1年目となる昨年度は勉強会や意見交換会、また先進地視察や研修を実施し、現在の課題把握や勢和の良いところを再確認し、将来どんな勢和地域にしていきたいかというビジョンの策定を行いました。また、公式LINEを整備し、情報発信にも力を入れてきました。

勢和の将来ビジョン

「合」でいける勢和  
～農ある暮らしを、話し合い、支え合い、認め合っていく～

「話し合う」地域資源の活用

- (1) 自然環境・景観の保全
- (2) 地域資源と農の連携
- (3) 関係人口・交流人口の増加

「支え合う」生活支援の推進

- (1) 地域全体で支える体制の構築
- (2) 未来を担う子どもたちの育成
- (3) 地域コミュニティの維持

「認め合う」農用地の保全

- (1) 農業環境の整備
- (2) 担い手の確保・継承の強化
- (3) 収容性の確保

2年目となる今年は、事業を実際に形にいくために、**ビジョンに沿ったアクションプランを考え、その一部を実証するための活動を行う**予定です。また、勢和地域の住民を対象に「どんな勢和地域にしたいか」ということを夢と希望をもってわくわくした気持ちで語り合う場「**勢和の夢未来語り**」ワークショップを開催予定です。

勢和地区がこれからも農村風景を維持し、人も地域もいきいきと輝いていけるような取り組みを、住民の皆さん一人ひとりが主体的に関わりながら活動できる仕組みづくりを進めていけたらと思います。



2年目の事業イメージ・スケジュール

農村（勢和）の問題が1年目の調査で色々とみえてきました。'今'にとらわれず、10年後の未来の話しができる機会をつくりますので、ぜひご参加下さい。

若い方たちにも一緒に30年先を考えていただけますように！

会長 中西真音子

## 「秋の美味しい勢和を味わう 爽りの会」開催のお知らせ

爽りの秋を迎えました。勢和RMO協議会では勢和の美味周知の一員として、勢和で育った美味しいものを、さらに美味しく加工されたお菓子やパンなど味わう会を開催します！ぜひご参加ください！！

勢和の美味しいものを食べながら、未来の勢和について一緒に話しやべりしましょう！

<直接、会場にお越しください。15分前から開場です。参加無料。>

① 9/29 会 色木集会所 (色太421) 19時～	④ 10/19 会 老人憩いの家 (上出江534-2) 15時～
② 10/1 日 勢和図書館会議室 (朝野2889) 10時～	⑤ 10/21 土 片野コミュニティセンター (片野1250-3) 19時～
③ 10/3 火 ふるさと屋 (丹生1620-3) 10時～	

オンラインでも！ 10/6 日 はオンライン開催(20時～) 事前に公式LINEにてお申し込みください。

ご案内

### 勢和農村RMO 公式LINE

ご登録はしていただけましたか？

QRコードを眺むとこの画面が表示されますので「開く」を押してください。

次に表示される画面はこちらです。「許可する」を押してください。

しばらくするとこの画面が表示されますので「追加」を押してください。

登録後の「10秒アンケート」の回答をお待ちしています！！

## この秋、勢和地域のイベントが盛りだくさん!!

イベントに参加して勢和を盛り上げましょう!!

- 10/1日 勢和図書館 ほんととカフェ
- 10/1日～31日 勢和丹生区内 丹生宿てくてく七巡り
- 10/8日 勢和ゆりの丘 勢和スポーツフェスタ
- 10/14日 勢和図書館 スライドトークショー「宮沢賢治の夜」
- 10/21日 午前 勢和 元丈の里賞賛組合 さつまいも掘り【米粉おやつ付き】★要予約
- 10/21日 12時～ 勢和 丹生大師神宮寺 丹生大師 秋の大祭
- 10/21日 13時～ 勢和 丹生神社 丹生神社御鎮座1500年奉祝記念祭
- 10/22日 勢和 勢和台スポーツセンター 勢和カップ400歳ソフトボール大会
- 10/29日 勢和 勢和中学校体育館 勢和中学校文化祭
- 10/29日 勢和 勢和中学校体育館 立梅用水開設200周年記念・バスディスプレイジョン・餅まき
- 10/29日 勢和 勢和小学校体育館 立梅用水開設200周年記念・餅まき 劇団ほてい葉「おしらの村に水がきた」
- 11/5日 勢和 元丈の里 元丈の里 秋まつり

各イベント詳細は、勢和農村RMO公式LINEをご覧ください。



2023年11月30日

勢和農村RMO 通信

# Let's合!勢和!!

発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町丹生1620-3）

第6号

農村型地域運営組織（農村RMO）とは人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことで、勢和地域では令和4年度に（一社）ふるさと屋を事務局とする「農村RMO形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。



ワークショップの様子

## 「未来語り」ワークショップを実施しました。

9月末から10月にかけて全6回、勢和地区の様々な場所で、秋のおいしい味覚を味わいながら、勢和の未来について話す会を実施しました。進行役には、ファシリテーターの佐々木尚子さん（松阪市飯高町）をお迎えし、終始賑やかな雰囲気の中での活発な意見交換となりました。

当日は、参加者が3～4人程度のグループになってテーブルを囲み、まず初めに自己紹介を行いました。その後、これまでの勢和農村RMOで確認した「合」いきる勢和、認め合い、支え合い、誇い合いの3つをテーマに、自由に言葉を出し合い付箋に書いて紙に貼っていききました。そしてグループごとに「未来新聞」を書きます。未来の日付を決めて、その新聞に「未来の勢和地域はどんな風であってほしいか」という思いを込めてみんなで内容を考えて書いていきます。勢和10大ニュースや地区ならではの話題、「丹生小復活」「冷泉が温泉に」「日本の生産系100選に選ばれる」「空き家の数が0に」など、明るく楽しく希望にあふれたユニークなニュースが並びました。



そして最後に、「今できることは何か」を見つける時間になりました。また、普段話さない方々どうして共通の課題に取り組むことで新たな気づきがあったり、地域の知らなかった側面を見つかることができたり、出会いと交流の場にもなりました。

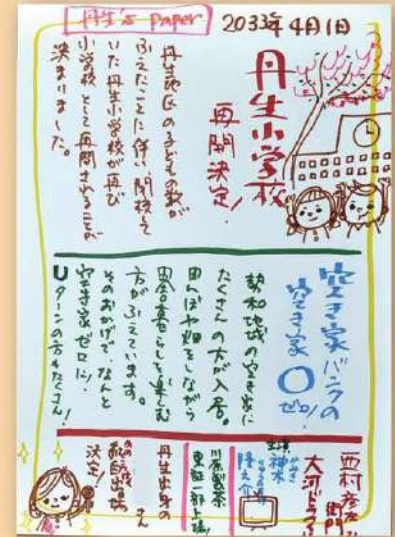
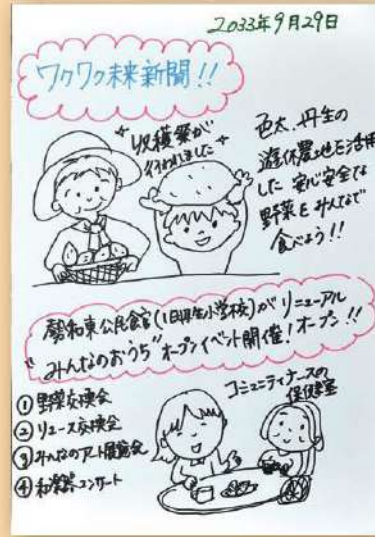
途中で「秋の味覚」として、地元のおいしいもの（五平餅や焼き芋、パンなどその都度ちがう食べ物があるまわられました）をいただきながら和やかな時間が過ぎていきました。

ここで話し合われたことが、参加したみなさんの胸の内だけでなく、周りの人を巻き込んだ何かの形となって「活動」につながるよう応援できればと思います。



## 勢和未来新聞

「勢和の美味しい実りを食べる会」の参加者の皆さんが制作（一部）



上記以外にも10枚以上の「勢和未来新聞」が出来ました！ 勢和農村RMO公式LINEからぜひご覧いただき、感想をメッセージ下さい！

【見方】公式LINE→トップページ「未来語り」を押す



立梅用水開闢200周年記念公演 劇団ほいでい楽「あらの村に水が来た」

10月29日の文化祭展示ブースに 勢和農村RMOコーナーを設置

勢和200年の節目を祝う日 5回のワークショップで制作された勢和未来新聞は、10月29日に勢和中体育館で開催された立梅用水開闢200周年記念講演やディスカッションや勢和農村RMO活動紹介展示コーナーでも活用されました。



勢和中1年生の農業コーナーで吉川福来さんと 福林温さんにインタビューしました。

1年生のテーマは 農業で、休耕田を どう活用出来るか 調べたり、意見交換 をしている

農業をする人が、 少ない事や、自給率 を上げるために出来る 事など、中学CS活動を 通してもっと知って もらい、農業する 人を勢和で増やして いきたい

小学校での SOCS活動も嫌い じゃなく、地域の人に 任せきりな部分が 気になっていたから、 自分分でできる のも嬉しい



2024年1月30日

勢和農村RMO通信

Let's合!勢和!!

発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町丹生1620-3）

第7号

農村型地域運営組織（農村 RMO）とは人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことで、

勢和地域では令和4年度に（一社）ふるさと屋を事務局とする「農村 RMO 形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。

## 農村 RMO 形成推進事業の中間報告をお伝えします！

開始から2年目を迎える勢和農村 RMO 協議会の事業状況についてご報告します。

### 1年目の基礎調査に基づいた5つのプロジェクトを検証中！

昨年度は調査を実施し、今年度は調査に基づいた計画づくりと小さな実証を実施しています。

#### ①体験プログラムづくりプロジェクト

勢和でお米がや大豆が育てられるようになった立梅用水の歴史を背景に、米や醤油、大豆を使ったおやつづくりの体験に挑戦しています。



その他の体験についても様々な団体と協力しながら今後増やしていきたいと考えています。

#### ②ユニバーサル農地づくりプロジェクト

遊休農地と野菜づくりをしたい方をつなげるため、地域の野菜作りの名人を先生役として迎えながら共働で野菜づくりを行い、小さな農地活用としての可能性を実証中です。今年は波多瀬地区で行っています、来年度は瀧う地区でも1箇所できないか検討しているところです。



裏面に続く

#### ③生態系・農村風景保全プロジェクト

今年度の夏に勢和中学校と三重大学と一緒に、丹生地区のメダカ池で水中生物の調査を実施しました。調査によって判明した水中生物を30種類の生き物カードとして整理し、夏の観察会のイベントでは参加者が見つけた生物と同じカードを交換できる仕組みを取り入れてみたところ、大変好評でした。

カードは生物の種類ごとに色分けする等、わかりやすい工夫をすることで、更に興味を持ていただけるよう配慮しています。今年度は冬にも実施する予定としています。



#### ④視察プログラム連携プロジェクト

勢和地域には各地から視察に訪れる事業者や団体が多くあるため、今後連携することでより満足度の高い視察プログラムを運営していきたいと考えています。現在は、それぞれの視察受け入れの現状について調査している段階です。



#### ⑤特定地域づくり事業協同組合プロジェクト

年間を通じて複数の事業所で仕事をする新しい働き方を勢和に広め、人材が不足している地域づくり事業の支えていくことを目的に検証を進めています。現在、全国に97組合が設立されています。

更に今年度のワークショップから生まれたプロジェクトも来年度に向けて準備中!!

#### ⑥地域みんなで考える獣害支援プロジェクト

農村で暮らしていれば誰もが遭遇経験のあるサルやシカ、イノシシなどの野生動物。最近では農地だけでなく、住宅地でも目にするが増えています。農家さんだけでなく、勢和に暮らすみんなと一緒に、日々の暮らしの中での困り事や情報を共有しながら、今できる対策を模索していきたいと考えています。



写真はイメージです

#### ⑦勢和移動門元プログラムづくりプロジェクト / 仮

昨年10月、勢和5地区の集会所で実施したワークショップを経て、「集まってお喋りする機会がもっとあればいいのに」という多くの声と同時に「行きたくても行けない」方々の状況も見えてきました。

それならば集会所を自由に移動させる仕組みと気楽に集まることのできる機会を作れないかと、看護師や司書、社会福祉士、農村プロデューサー等の両書きを持つメンバーが集い、様々な可能性を探っています。

- ・地域商社づくりプロジェクト
- ・勢和の農村風景の維持保全プロジェクト

## ! information

## 2/18 (日) 午後は勢和小学校体育館へ!!

先着100名様限定



人口減少する未来に向けて力を合わせる方程式

ゲスト講演会+井戸交交流会

2024年2月18日(日)

13時

13時半~15時

勢和地域で暮らす皆さん、地域づくりに興味のある方、勢和小学校体育館 (駐車場は勢和中学校をご利用ください)

①ゲスト講演

高田健二氏 (海士町グローバル・フロンティア大使・鳥取県立大学客員教授)  
鳥取県立大学、沖繩県立大学、沖繩県立川崎中学校、沖縄県立高砂中学校で、情報学として講師と授業に携わっています。

②井戸交交流会

勢和、勢和地域で検証を進めている3つのプロジェクトメンバーとの井戸交交流会。  
(農村型プログラムづくり、みんなで考える獣害支援、移動可能なプログラムづくり/仮)

\*プログラムや参加費は別途お知らせいたします。

「勢和未来新聞」展示会

勢和で暮らす50名のみなさんが作成した10年~30年後の未来新聞を展示いたします。

2024年1月20日(日)~1月28日(日) 勢和図書館

主催：勢和農村RMO協議会 (代表：(一社)ふるさと屋) 後援：多気町

入場無料 (予約不要)



YouTube LIVE配信はコチラ▶



好評につき「勢和未来新聞」展示会 2月12日(月) まで会期延長決定!!



会場：勢和図書館ホール



2024年6月1日  
勢和農村RMO通信

第8号

# Let's合!勢和!!

発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町民生1620-3）

▶公式LINE  
ご登録をお願いします



## 勢和農村RMO協議会の3年目が始動しました!!

2月18日（土曜）に注目度の高かった順にご紹介します。

### ①うさこ!円居プロジェクト

2年目の地域住民参加型のワークショップや井戸端交流会時に「集まる機会やおしゃべりする機会があることが嬉しい」「もっと色々な機会があったら楽しい時間が増えて元気になれる」といった声を多くいただきました。コロナ影響が数年に及んだ事を感じます。社会的繋がりが健康年齢に及ぼすプラスの影響がある事も多く報告されています。また、近所づきあいが無い人、困った時に頼れる人がいない人は、生きがいを感じていない割合が高いと言われています。そこで、場所や内容を固定せず、様々な団体・グループと連携しながら気軽に集える機会を創出すると共に、看護部による健康維持プログラムの検証を進めています。

（連携団体）順不同  
・多気町社会福祉協議会 ・勢和ためんの会 ・丹心の会 ・立柳用水土地改良区

### ②これらの獣害対策と生態系安全プロジェクト

近年、シカ、イノシシ、サル等の野生獣による被害が深刻化しています。農作物への直接的な被害に加えて、賞鳥数等の減退のように間接的な被害がある他、非農家にとっても車道との衝突や農家被害、住宅地への侵入等のリスクが高まっています。したがって獣害を減らすために、農家はもちろんだ、非農家である地域住民や域外からの来訪者が関心、問題意識を持ち、それを共有する仕組みや手段を作りたいと考えています。

また生態系保全については、昨年製作したオリジナル図鑑カードを使った観察会を継続開催していきます。



農村型地域運営組織（農村RMO）とは人口減少により弱体化する集約機能を保全する協議会組織のことで、勢和地域では令和4年度に（一社）ふるさと農を事務局とする「農村RMO形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。

### ③農用地保全と地域資源活用プロジェクト

1年目の田畑の活用に関する所有者の方々と住民アンケートで、「農ある暮らし」への興味・関心はあるが、行動するきっかけが無いと回答した方が多かったことから当プロジェクトが動き出しました。地元の野菜づくり名人に先生をお願いする「野菜づくり教室」と、田畑×地域学で構成する農村体験プログラムをシリーズ化し、勢和地域内外の大人の方やファミリーを対象にしながらプログラム実証を行っています。



5/9（木）には元丈の里営農組合ゆめ工房との共催で、田畑体験を開催し、町内外から10名の方に参加いただきました。



同じく波多瀬地区で遊休農地の活用について検証中の野菜畑では、想像以上に立派で美味しい野菜が次々と収穫でき、参加者のみなさんも笑顔でいっぱいです。

いつもありがとうございます！おかげで3年目を迎えることができました。昨年度までの2年間、多くの皆様にご協力そしてご参加いただいたヒアリング調査や「勢和未来新聞作り」ワークショップ、井戸端交流会、勢和暮らしアンケートを通じて3つのプロジェクトがいよいよ実証に入ります。「合（あい）」でいえる勢和—農ある暮らしを、開き合い、支え合い、認め合っている—「勢和の地域おこし」は勢和地域で暮らす皆さんと一緒に力を合わせなければ進まないで、3年目もご協力・ご参加・お声かけなどよろしくお願ひします。



## 2/18日「未来をかえる勢和の力」が開催されました！

勢和の未来に向けた新たな可能性を感じる講演会と井戸端交流会となりました！



講演会の様子

### 第1部：講演会

各地のコミュニティ・スクールの立ち上げや課題解決に尽力している高田健二氏（海士町グローバル・フロンティア大使、鳥根県立大学客員教授）をゲスト講師に招き、お話を伺いました。地方創生の先進地である鳥根県海士町の事例に触れながら、「自ら積極的に地域を元気にしようと熱く燃えている方の火を消さないように！」と既にチャレンジしている方を応援する姿勢の大切さ呼びかけていただきました。

### 第2部：井戸端交流会

井戸端交流会では、勢和地域で検証を進めているプロジェクトの中から、①農村体験プログラムづくり②みんなで考える飲食支援③うさこ!円居プロジェクトの3つに分かれ、それぞれプロジェクトメンバーと意見交換が行われました。



井戸端交流会の様子

### 当日の録画公開中!



第1部 第2部

## 勢和暮らしアンケートのご協力ありがとうございました！

3月に実施したアンケートの集計結果を一部お知らせします

回答総数  
408名

（勢和地域内）複数回答可

### お気に入りの場所 No.1 は「ゆとりの丘」!

ゆとりの丘	148人
自宅	112人
勢和図書館	108人
丹生大町・丹生神社	101人
元丈の館	58人
油田公園	47人
龍山山頂	45人
立柳用水沿い	43人

<その他> 柳田川(33)、勢和中(28)、勢和小(27)、勢和保育園(26)、喫茶店やカフェ(25)等



### 勢和地域で参加したことがあるイベントや行事

（複数回答可）

あじさいまつり	258人
スポーツフェスタ	124人
丹生大前大祭	123人
丹生宿でつくづく七瀬り	66人
ほんとかフェ	65人
元丈の宵夜祭り	58人
各地区の夏祭り	54人
農福神事	47人
400歳ソフトボール	27人

8割以上の方が、参加経験あり!

### 6/9（日）あじさいまつり今年も開催!!

右下QRコードを読み込むと「あじさいまつり」当日に勢和RMOブースで使えるゲーム参加券をプレゼント!

当日の会場マップやプログラムスケジュール・出店情報も届きます! 田んぼ網引きに勢和RMOプロジェクトからチーム参加してお祭りを楽しめます! 応援よろしくお願ひします!





2024年10月15日

勢和農村RMO通信

# Let's合!勢和!!

発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町丹生1620-3）

▶公式LINE  
ご登録をお願いします



第9号

農村型地域運営組織（農村RMO）とは人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことで。勢和地域では令和4年度に（一社）ふるさと屋を事務局とする「農村RMO形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。

こんにちは！勢和農村RMO協議会会長の中西眞喜子でございます。今回は「みんなで考える獣害対策と生態系保全プロジェクト」より、獣害に関わるプログラム、「地域マップ」についてリーダーにお話を聞いてきました！



### 自己紹介をお願いします。

プロジェクトリーダーを務める、三重大学4年生の中村圭吾です。僕は勢和地域と同じ中山間地域である大紀町に住んでいます。以前から獣害に興味があり、農業に携わる方だけでなく、若い世代の方にも興味関心を持って欲しいと思いこのプロジェクトに関わっています。

### 「地域マップ」作成に至った背景を教えてください。

勢和地域の現状アンケート調査で、獣害に興味を持っている方が農業や家庭菜園に携わっている方に偏っていることを改めて認識しました。一方、若い世代ではスマホを使った獣害対策があるなら活用したいとの声があったので、獣害や生態系（花や虫）をスマホで情報共有できる環境があれば、獣害への興味喚起と地域の美しい風景を見直すきっかけになると考えました。

### 「地域マップ」ではどのようなことができますか

スマホを使って、ご自身が遭遇した獣害や花を投稿します。投稿することで、被害の状況を地図上で伝えることができます。また、投稿するとポイントが付与され、500ポイントたまると地域通貨等と交換も可能です。

### 「地域マップ」はどんなことが期待されますか

一般社団法人ふるさと屋や猟友会では獣害対策を長年行っていますが、獣害は増え、被害も出ています。近年、県内市町ではクマも出ています。そうした状況だからこそ、地域住民のみなさんからの声を聞かせていただきたいです。

地域マップを獣害対策の手段として利用していただき、情報共有することで知るきっかけになります。地域住民一人ひとりが興味関心を持ち、自分達ができる形で獣害に触れることが対策に繋がると考えています。

地域住民で作る 勢和地域マップ

投稿でポイント！ポイントが地域通貨と交換可能！

情報投稿からはじめる 地域活動

公式LINEのメニュー下から「勢和地域マップ」へ！

勢和農村RMO 公式LINE にご登録ください！

勢和農村RMO 協議会事務局（一般社団法人ふるさと屋）  
三重県多気郡多気町丹生1620-3

新聞で紹介していただきました！ぜひご覧ください。

### 10月以降の予定

- 10/05(土) 農村体験プロジェクト・枝豆を収穫して食べよう！+朝昼で遊んで体験
- 10/10(日) 農村体験プロジェクト・脱穀+育てた新米を朝昼で炊いて食べよう！
- 10/15(火) うごく円居プロジェクト・子ども劇コースとシェアボックス(下出江)
- 10/26(土) 全プロジェクト・勢和中・勢和農村RMO 合同文化祭
- 勢和住民全対象の合同文化祭を行います！詳細は右下をご覧ください。  
時間 8:40~15:45(開会式)  
会場 中学校体育館+給食センター前  
P 中学校校庭(入口:双葉坂のみ)
- 11/05(火) うごく円居プロジェクト・足湯とシェアボックス(上出江)
- 11/12(火) うごく円居プロジェクト・子ども劇コースとシェアボックス(片野)
- 11/19(火) うごく円居プロジェクト・畑で地域調査
- 12/03(火) うごく円居プロジェクト・足湯とシェアボックス(丹生)
- 12/04(水) うごく円居プロジェクト・畑で地域調査
- 12/10(日) 農村体験プロジェクト・大豆の収穫+五平餅づくり体験
- 12/17(日) 農村体験プロジェクト・伊勢型しめ縄作り+交流会
- 1/7(日) 農村体験プロジェクト・育てた大豆で味噌づくり+遊の時間

上記のプログラムは変更や中止することがあります。詳細は公式LINEでご案内中。ぜひご登録下さい(表裏参照)

12/05(木) R6年度 農村RMO 東海フォーラム(東海農政局) 今年の東海地区代表に「勢和」が選ばれ、東海地域のフォーラムが開催されることになりました。各取組のプロセスや活動発表、有識者とのパネルディスカッションを実施する予定です。

### 4月以降の各プロジェクトの様子(一部ご紹介)



勢和中2年生による「地域情報発信チーム」の授業を勢和農村RMOで担当しました。「取材・記事を書く・発信すること」の可能性をお伝えし、多気町長や地域の皆さんを取材していただきました。生徒達の記事は右記QRコードからご覧いただけます！ぜひフォローをお願いします！

勢和中応援プロジェクト

詳しくはこちら

## 勢和中+勢和農村RMO 合同文化祭決定

10月26日(土)は勢和中体育館へ!!!

昨年度2月に勢和小学校体育館で行った「勢和の力」の第二弾を勢和中学校との合同文化祭として開催します！勢和井戸端大交流会+「勢和の未来」公演会には、2月に参加できなかった方ももちろん、どなたでもご参加いただけます。お昼からは今年度実施する各プロジェクトのプログラムを体験いただけるコーナーや、各学年の総合授業に関連する出店、リニューアルしたふるさと村動物園から「出張」ふれあい動物園も決定しました！ぜひご家族やご近所の皆様とお話し合わせの上でご参加下さい!!!

勢和中に集まれ 10月26日(土)

当日のスケジュールや出店・物販、体験コーナーの詳細はこちら!



2024年11月20日  
勢和農村RMO通信

第10号

# Let's合!勢和!!

発行：勢和農村RMO協議会事務局（多気町丹生1620-3）

農村型地域運営組織（農村RMO）とは人口減等により弱体化する集落機能を保全する協議会組織のことで、勢和地域では令和4年度に（社）ふるさと屋を事務局とする「農村RMO形成推進事業」が選定され、農地の保全や住民の生活支援、地域を活性化させるための仕組みづくりに取り組んでいます。

## 勢和中学校+勢和農村RMO合同文化祭が開催されました!

**勢和の今** 勢和未来型井戸端交流会 2024.10.26

勢和の好きなところ

勢和とあなたとの関わりは?

場所 自然 文化 産業

中学生の子どもたちと地域の大人たちが参加して行われた「勢和未来型井戸端会議」では、勢和地域をテーマに様々な声が寄せられました。図は、イラストを用いながら会議の内容を整理するグラフィックレコーダーの小林さんが、会場で作成したものです。

**勢和のミライ** 三重大学大学院 岡島賢治先生

～農村DXと先端水立格用水がもたらす未来の勢和地域～

スマート農業

もう一つの未来

では、人は社会のためにどんな活動をする?

合同文化祭の後半は、三重大学・岡島先生による「勢和のミライ」についてお話いただきました。先生からは「みんなで作ってきた勢和だから、みんなで描く未来もきっと作れる!」と激励をいただき、会場は元気いっぱいになりました!



勢和農村RMO体験コーナー「タネ種・クイズ」は大人気!



地元の新米を使用した手づくり五平餅は大人気!



体育館内展示コーナー 勢和農村RMO通信を副刊号から展示



勢和農村RMO体験コーナー 中学生と大学生で作り上げた「駄害すごろく」も好評♪



吉田校長が「合同文化祭は大成功であった!」と総括

勢和中学校の総合学習の授業で、6月から生徒さんたちと勢和農村RMO協議会と一緒に取り組んできた事についても各学年のステージ発表で報告してくれました!! これからも勢和地域の事を一緒に「思い」「考え」「行動」し続けたいです。

- 12月以降の予定
- 12/03(火) うこく円居プロジェクト・足湯とシェアブックス(丹生)
  - 12/03(火) 農村体験プロジェクト・伊勢型しめ縄作り+交流会
  - 12/04(水) うこく円居プロジェクト・田畑で地域調査
  - 12/05(木) R6年度 農村RMO 東海フォーラム(東海農政局) 今年の東海地区代表に「勢和」が選ばれ、東海地域のフォーラムが開催されることになりました。各取組のプロセスや活動発表、有識者とのパネルディスカッションを実施する予定です。
  - 12/12(土) うこく円居プロジェクト・人生すごろく
  - 12/14(土) 農村体験プロジェクト・大豆の収穫+足踏み脱粒体験
  - 1/下旬 農村体験プロジェクト・育てた大豆で味噌づくり+麹の時間
- 上記のプログラムは変更や中止することがあります。詳細は公式LINEでご案内中。ぜひご登録下さい(表面参照)

みんなでつくる/ 勢和地域マップ

おかげさまで200投稿達成!! 投稿ありがとうございます

初めでの投稿で200Ptをプレゼント!

200人限定ミッション50Ptプレゼント!

ポイントが使える場所も増えてます!!

利用者の声

投稿が増えるほど、サルの出没場所をすぐに把握できるのでありがたい! 誰でも投稿できるのは画期的!

生き物好きのこどもが見つけて撮った写真を投稿する事にハマってます! 投稿するとポイントが貯まって勢和地域で使えるので、親子で楽しんでいます♪

公式LINE: 勢和農村RMO協議会事務局

モンキーバスターズ「J」さん 生き物大好き子のママFさん